

議会以外での活動報告

■ 篤心会街頭活動

昨年の改選後に新たに発足した、知立市議会の最大会派である「篤心会」は、各議員が議会の要職を担い、市民福祉の増進に努め議会運営をけん引してきました。私も代表として、この1年間不安定要素のある議会運営を円滑に進めることができるよう尽力して参りました。この間、広報広聴活動として会派全員で街頭に立つことはもちろん、見識を深めるための視察研修や、会派独自の勉強会も開催してきました。



■ 全国地方議会サミット2023&議会ICT化セミナー

7月5日～6日、早稲田大学大隈記念講堂で開催された「全国地方議会サミット2023」の運営と、セッションの進行を担当させていただきました。セミナーの講師は何度か経験がありますが、何百人の地方議員の皆さんを前にお話しするのは初めての経験です。それ以上に、地方自治の権威である、北川正恭早稲田大学名誉教授と廣瀬克哉法政大学総長に挟まれて写真撮影をして頂いた時は、もっと緊張しました。7月21日には、再び東京八重洲でセミナー講師を行いました。



北川正恭先生・私・廣瀬克哉先生



早稲田大学大隈記念講堂



■ ラジオ体操にお邪魔しています

毎年8月は、各町内会で朝のラジオ体操を行っていますが、知立市内では8か所で、1年中毎朝ラジオ体操を実施しています。山屋敷公民館、知立神社、弘法山遍照院、八橋日吉大社、新林公民館、昭和6号公園、昭和3号公園、西中跡落公園、です。私も時々ウォーキングを兼ねて寄らせていただいておりますが、気軽に参加させていただきます。皆さんも一緒にいかがですか？



プロフィール



昭和41年7月25日生まれ（獅子座、B型）
 はなの木幼稚園、八ツ田小学校、知立中学校卒業
 刈谷高等学校、立命館大学卒業（社会学士課程修了）
 中、高、大、社会人時代ハンドボール部所属
 オフィス・ティスタジオ代表（平成5年～）
 平成22年 知立市議会議員初当選
 平成26年 知立市議会議員2期目当選
 平成28年 新会派「立志会」設立、幹事長
 平成30年 知立市議会議員3期目当選
 第51代知立市議会議員
 令和元年 第52代知立市議会議員
 令和2年 議会運営委員長、立志会会長
 令和3年 市議会だより編集委員長（継続）
 議会DX推進PT座長（継続）
 知立市議会議員4期目当選
 令和4年 新会派「篤心会」設立、会長

- ・八ツ田小学校 第30代PTA会長（知立市P連会長兼任）
- ・八ツ田小あんしんみまもり隊初代隊長（現事務局）
- ・ちりゅうこどもフェスティバル実行委員会発足（現監事）
- ・知立市商工会 理事、知立ライオンズクラブ 会員
- ・知立市スポーツ協会 監事、知立市テニス協会 会長、
- ・知立市国際交流協会 理事、愛知県交通安全協会安城支部 理事
- ・愛知県ドッジボール協会 事務局長、愛知県スポーツ協会競技委員
- ・日本ドッジボール協会東海ブロック 事務局長
- ・日本ドッジボール協会公認C級審判員、A級指導員
- ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（コーチ1）
- ・知立市「宇宙の学校」スタッフ、USYせせらぎの会 顧問
- ・日本防災士機構認定防災士（No.132526）
- ・熱中症対策アドバイザー（熱中症予防声かけプロジェクト）
- ・第18回マニフェスト大賞事務局長
- ・子どもの事故予防地方議員連盟会員（子ども安全管理士）
- ・デジタル推進委員（デジタル庁）

最後までお読みいただき、ありがとうございました。今後とも、ご支援のほど、よろしく申し上げます。

討議資料

田中たけし

後援会
だより



〒472-0012 知立市八ツ田町1-3-1 Tel: 83-9974 Fax: 050-3488-1346



■ 「日日是好日」として...

田中たけし後援会だより(第56号)をご覧いただきありがとうございます。4期目の議員活動も2年目に入り、通算14年目となりました。昨年発足した新会派「篤心会」の活動も順調に進んでおり、予算編成に関する提言や、政策提言も着実に実現に向かっていきます。また、個々の議員が持ち寄った先進事例や市民要望も、会派の施策として議論し、形としていく流れができています。会派結成の際に定めたビジョン「議会活動を通じて新たな価値を創造し、住民福祉の増進と、豊かな社会の実現に寄与する」を実現するために、5つのミッションを掲げており、それらを着実に遂行することにより、会派ひいては市議会のバリューを高めるよう努めて参ります。

5月に新型コロナウイルス感染症が5類となり、この夏はたくさんの行事が「4年ぶり」に、ほぼフルスケールで開催され、多くの参加者で賑わいました。町内会や各諸団体の役員の皆様には、久しぶりの開催で心労もあったかと思いますが、やはりリアルで人の温かさやつながりを感じる行事は大切であると実感しました。一方、この間の自粛の影響で、活動が停止してしまった事業もあると聞きましたが、このコロナ禍の3年間で気付いたこと、学んだことを活かして、さらにレベルアップしていきたいところです。

裏面でも一部紹介していますが、7月～9月は多くの研修や勉強会、懇談会に参加しました。この3年間の鬱憤を晴らすようなスケジュールでしたが、充実した時間を過ごすことができました。7月の地方議会サミットや8月のマニフェスト研修会では、チャットGPTの活用などの新しい知見を目の当たりにしました。また、マニフェスト大賞事務局長として寄稿した政治山の記事が、何故かYahooニュースのトップ記事になっていて焦りました。9月には議会日程の合間を縫ってボールパークとして6月定例会の一般質問で取り上げた「エスコンフィールド北海道」を見学し、野球観戦以外の盛り上がり体験し、賑わいづくりに「空間・場所・拠点」が必要であることを実感しました。

さて、4月から始めた「質実剛健」を掲げた街頭活動ですが、平日の早朝に市内の各主要交差点で、休日の日中は商業施設前で継続しています。この間はこの夏の酷暑との戦いでしたが、これからは寒さとの戦いとなります。最近では、本当に多くの皆様にお手ふりやお声かけをいただき、フィールドワークの原点だと実感しています。中には「最近よく見かける」という理由で、見知らぬ方からお声かけをいただき、市政に関してすっかり話し込んでしまったこともありました。あくまで、議員としての広報広聴活動の一環として行っていますが、皆さんに少しでも政治に関心を持ってもらうきっかけとなれば幸いです。街頭で見かけたら、遠慮なくお気軽にお声かけください。

今期の公約として掲げた「前例より前進」を推進し、皆様のくらしの向上に尽力して参ります。

知立市議会議員 田中 健 (57歳)



←田中たけしの最新情報はコチラ

田中健 知立

たなかとつながる



公式 LINE

9月定例会が開催されました

9月7日～29日の期間で9月定例会が開催され、以下の内容で質問に立ちました。

■ 一般質問を行いました（通算44回目）

（1）VPDを知って健康を守ろう

「VPD」とは(Vaccine: ワクチン)(Preventable: 防げる)(Diseases: 病気)の略で「ワクチンで防げる病気」のこと。新型コロナウイルス感染症対策として接種されてきたワクチンだが、日本にはこれ以外にも多くの感染症があり、その予防策としてワクチンが使われている。国は予防接種法で感染症のまん延防止のため、VPDに対する定期接種を定めており、特に乳幼児のワクチン接種は子どもの命と健康を守るために重要な施策である。

Q: 乳幼児ワクチンの接種率と、VPDの予防のために保護者に対してワクチン接種の必要性を伝える取り組みは?

A: 出生後2か月頃から開始する予防接種は95%以上の接種率。1歳以上の予防接種でも90%前後の接種率。保護者に対しては、妊娠届出時の母子手帳の説明時に予防接種の説明を行い、出生後は1～2か月後に自宅へ訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問」で就学前までに受けなければならない予防接種の予診票がつづりになった予防接種手帳を渡し、予防接種の必要性や受け方等を説明する。その後は3、4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診毎に接種状況を個別に確認し、その時期に受けられる予防接種が未接種の場合、接種勧奨を行う。また就学時健診時にも学校教育課で予防接種未接種者への勧奨を行っている。

Q: 積極的接種勧奨が再開された子宮頸がん(HPV)ワクチンについて、接種状況と啓発活動は?

A: 積極的接種勧奨を控えていた時期は1%に満たない接種率だったが、差し控えが終了した令和3年度は1回目の接種率が8.9%、接種券の個別通知を開始した令和4年度は、定期接種対象者は27.9%(1回目)と接種率は増加している。積極的接種勧奨を控えていた時期の対象者であるキャッチアップ対象者は、7.9%(1回目)の接種率。

Q: 带状疱疹は日本人の90%がウイルスを保持しており、50歳以上で急激に増加し、80歳までに1/3が発症する。現状は任意接種であるワクチンについて、国においても定期接種化の検討項目に入っているが、すでに多くの自治体が接種費助成を行っている。愛知県54市町村のうち33自治体が実施済み。知立市も導入すべきでは?

A: 県内自治体や近隣市が助成を開始していることは把握しており、国の定期接種化の動向を注視しているが、費用対効果や財政状況を踏まえて検討していきたい。



（2）コンパクトシティの交通安全

知立市は4キロ四方、16平方キロメートルのコンパクトシティ。SDGsの取り組みをはじめとする持続可能な社会の実現のため、コンパクトシティの脱炭素社会モビリティとして、自転車等の活用が期待される。このような中で、自転車の関連する交通事故が多発しており、道路交通法改正により、全世代のヘルメット着用が努力義務化されるなど、事故防止への取り組みを行っているが、知立市における施策について質した。

Q: 警察庁が7月に行った自転車乗車時のヘルメット着用率の全国一斉調査の結果を発表した。結果は2月～3月に13都府県を対象に行った調査の4.0%から13.5%に上昇したが、都道府県別で見ると、最も高かった愛媛の59.9%に対して、最も低かった新潟の2.4%と自治体間差が目立つ。愛知県は7.8%の31位という低調。愛媛では中高生の着用率がほぼ100%だが、市内の高校に通う生徒のヘルメット着用率が大変低い。高校に対して、何か推進活動は行っているか?

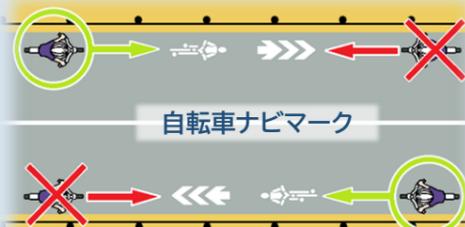
A: 高校生のヘルメット着用率は低く、自転車乗車時のマナーも含めて周知が必要。昨年11月から12月にかけて、市内3高校と協力して、自転車マナーアップの啓発活動を実施した。引き続き実施していきたい。

自転車等の利用促進に伴い環境の整備も必要となる。中央交通安全対策会議からの地方自治体への発信に「自転車に係る通行実態・事故実態等を踏まえ、自転車通行空間の整備を推進すること」とある。

Q: 今後、駅周辺整備における街路事業において自転車道の設置も期待されるが、自転車道が設置できる幅員が確保できない既存の幹線道路に関しても、道路交通法の順守、自転車の安全運行による交通安全推進を目的として「自転車ナビマーク・自転車ナビライン」の設置してはどうか?比較幅員のある市役所前南陽通りであれば、ランドマーク的な効果も期待できる。

A: 道路における自転車の通行空間の確保について、国を挙げての課題として政令も改正され、自治体としても取り組んでいくべき課題だが、十分に幅員が確保できない状況において、自転車の通行する場所や方向を路面表示する手法は有効であると理解している。すでに整備している近隣市などの状況や、設置の課題も整理したい。

※一般質問の全容は市議会ホームページの「一般質問のネット配信」でご覧いただけます。12月定例会からはYouTubeによる配信となります。



■ 本会議質疑、委員会質疑、賛成討論を行いました

□ 本会議質疑（9月11日）

■ 令和5年度知立市一般会計補正予算

・歳入：県補助金「元気な愛知の市町村づくり補助金：6,422千円」の内容と用途は?

→チャレンジ枠：あいちビジョン2030に沿った、市町村や広域連合が行う先進的な新規事業：444万6千円

…賑わいづくりイベントの開催による観光客誘致、観光交流センターの市内の魅力発信の強化、観光施設の整備による観光資源の魅力向上、等による新たな来訪者の誘致と観光客の回遊を促進する目的で、観光交流センターの費用と駅前マルシェに充当する。

DX推進枠：市町村が行うデジタル化・DXを推進するための新規事業：197万6千円

…庁舎内の一部に留まっていたネットワーク環境の無線化を庁舎全体で整備する。これにより、各種申請等における窓口におけるオンライン対応の拡大や、オンライン会議の参加機会の拡大を図り、市民サービスの向上と業務効率化を推進する。

・歳出：「スポーツ振興事業：425千円」の内容は?

→愛知県が今年度より「愛知県民の日学校ホリデー」を行うことに伴い、知立市では11月24日をその日に指定し、小中学生を対象にニュースポーツの体験を行うために企画するもの。令和4年12月に施行された「あいち県民の日条例」に基づく施策。

…「県民の日学校ホリデー」の趣旨は、家庭及び地域における体験的な学習活動、その他の学習活動のための学校休業日。地域の自然、歴史、風土、文化、産業等についての理解と関心を深める体験的な学習活動等に、家族などと一緒に参加することで、愛知への愛着と県民としての誇りをもつ契機とすることを目的としている。また、保護者の有給休暇の取得を促すことも目指している。

■ 令和4年度知立市一般会計歳入歳出決算認定

・「特殊詐欺対策電話機器等購入費補助事業：627千円」。

→65歳以上の高齢者又はその同居世帯が購入した迷惑電話防止機能付き電話機の購入補助(1/2、上限7,000円)。

警察庁が発表：令和4年の特殊詐欺発生状況は、認知件数17,570件(前年比+3,072件、増減率+21.2%)、被害額370.8億円(前年比+88.8億円、増減率31.5%)となった。警察のくくりは年度ではなく1月～12月なので、必ずしも一致しないが、1日当たり48件、被害額が1億円を超えている。令和4年の1年間で、愛知県では認知件数980件、被害額20億2,905万円、知立市では認知件数13件、被害額3,423万円。

…市のホームページには16件の未遂と8件の被害事案が掲載されているが、補助申請実績94台で21万円余の不用額を出している。令和5年度も補助事業を継続しており、被害状況をホームページに掲載している。着電に対する被害件数は減少しているが、被害ゼロを目指してさらに充実した広報が必要。

・「知立駅周辺土地区画整理事業」「知立連続立体交差事業」。

→知立駅周辺土地区画整理事業は、全体事業費210億円のうち、83.7%が実施済み(市単独では85.1%)、連立事業は、791億円のうち、鉄道事業者の実績が知らされていないので、全体の進捗率は把握できないが、市単独では125億円のうち70.9%が実施済み。

…その他、執行率の低い知立環状線事業や三河知立駅移設事業について内容を質した。

高齢者等を狙った詐欺にご注意ください！(令和4年度事案)
市内の特殊詐欺等の発生状況をお知らせします 出典：知立市ホームページ

No.	被害	状況(8件/24件)	被害
1	×	4月25日詐欺被害発生	約95万円
2	○	5月16日事案	未遂
3	○	7月29日事案	未遂
4	○	8月8日事案	未遂
5	×	8月9日詐欺被害発生	約110万円
6	○	8月25日事案	未遂
7	○	9月1日事案	未遂
8	○	9月3日事案	未遂
9	×	9月3日詐欺被害発生	1千万円・金1.5kg
10	○	10月3日事案	未遂
11	○	10月31日事案	未遂
12	×	11月16日被害発生	50万円
13	○	11月22日事案	未遂
14	○	11月24日事案	未遂
15	○	12月19日事案	未遂
16	×	12月19日被害発生	カード4枚
17	○	2月7日事案	未遂
18	○	2月8日事案	未遂
19	×	2月27日被害発生	約100万円
20	×	3月7日被害発生	300万円
21	○	3月10日事案	未遂
22	○	3月22日事案	未遂
23	○	3月29日事案	未遂
24	×	3月30日被害発生	カード2枚

□ 市民福祉委員会（9月22日）

■ 知立市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の改正

・排出された資源物の持ち去り行為を禁止するため、市及び委託業者等以外の者によるごみ集積所等からの資源物の収集又は運搬を禁止行為として明記し、禁止行為を行った者に対する命令及びその命令に違反した者に対する罰則(20万円)について規定するもの。施行期日、令和6年1月1日。

→3月定例会の一般質問で取り上げた、町内集積所からの資源物持ち出し行為に対して、条例において禁止行為とし、抑止力として罰則を規定した。

…市民からの相談に対して議会で取り上げ、行政を動かした実例となった。

